

「子どもの最善の利益とはなんだろう？」

支援者がお互いの強みを知り、
地域で切れ目ない支えを考えてみる集い

オンラインシンポジウム

第1回 2022年1月29日（土） 13～16時

第2回 2022年4月30日（土） 13～16時

主催：埼玉県立大研究開発センター

共催：一般社団法人コンパスナビ・NPO法人リマインド

後援：埼玉県

「子どもの最善の利益とはなんだろう？」

支援者がお互いの強みを知り、地域で切れ目ない支えを考えてみる集い

今回、母子支援～子育て支援、社会的養護につながった若者のアフターケア事業まで各領域で活動をしている団体が集う場を企画しました。

今ほど、コロナ禍を経て、地域社会から孤立し、支援につながる事が難しいまま虐待やネグレクトなど、不適切な養育に至ってしまった家庭へのまなざしを持つ必要に迫られているときはないと考えます。

「子どもの最善の利益とは何か」、そのための地域資源による切れ目のないサポートができないかを皆様と考えていきたいです。

諸団体・諸機関の連携のきっかけづくりの場とできれば幸いです。

日時：第1回 1月29日(土) 13:00～16:00

第2回 4月30日(土) 13:00～16:00

形式：オンライン シンポジウム形式 ZOOMにて開催

対象：子ども・養育者を支援している団体、行政、社協、その他関係者
地域で子どもを支えたいと思っている方

内容：埼玉県内にて各領域で支援活動をしている団体の活動紹介、情報交換・交流会

主催：埼玉県立大学研究開発センター

共催：一般社団法人コンパスナビ、NPO 法人リマインド

後援：埼玉県



活動紹介団体

第1回 1月29日(土)
13:00～16:00

一般社団法人 コンパスナビ
愛泉こども家庭センター
公益社団法人埼玉県社会福祉士会
みな風こども食堂ボランティア
地域若者サポートステーション深谷
さいたま市子ども家庭総合センターあいばれっと
冒険はらっぱ業務統括責任者(NPO 法人たねの会代表)
法テラス埼玉
NHK さいたま放送局
多様な学びプロジェクト
こどもの心のケアハウス嵐山学園
埼玉県こども安全課

第2回 4月30日(土)
13:00～16:00

NPO 法人リマインド
ハビママメーカープロジェクト
彩の国子ども・若者支援ネットワークアサポート
一般社団法人あんしん母と子の産婦人科連絡協議会
NPO 法人さいママ
NPO 法人ふるすあるは
ヘルシーカフェのら
一般社団法人 Master Piece
NPO 法人さいたまユースサポートネット
NPO 法人ピッコラーレ
公益社団法人やどかりの里

【参加費】
無料

お申込みはフォームメーカーにて登録をお願いいたします。

<https://business.form-mailer.jp/fms/22f24c8a159509>

【お問合せ等】埼玉県立大学研究開発センター 電話 048-973-4383



←こちらから

本日のスケジュール

2022年1月29日（土）

開始	終了	講演タイトル	ご所属	お名前
12:55	13:00	注意事項説明		
13:00	13:10	開会の言葉・趣旨説明		川越雅弘
13:10	13:20	埼玉県児童養護施設退所者等アフターケア事業について	一般社団法人コンパスナビ	星野 善美
13:20	13:30	産前からアフターケアまで 一貫性のある支援について（仮）	愛泉こども家庭センター	谷田 清美
13:30	13:40	希望の家事業について	公益社団法人 埼玉県社会福祉士会	小谷野 和悟
13:40	13:50	みな風こども食堂 ボランティアを通じて見えていたこと	みな風こども食堂（ボランティア）	服部 孝
13:50	14:00	多様な課題を抱える若者たちの自立に向けての就労サポート	深谷若者サポートステーション（特定非営利活動法人 ワーカーズコープ） 総括コーディネーター	清水 陽子
14:00	14:05	休憩		
14:05	14:15	多世代がつながれる居場所としてのプレイパー	さいたま市子ども家庭総合センターあいぱれっと 冒険はらっぱ業務統括責任者（NPO法人たねの会代表）	佐藤 美和
14:15	14:25	法テラスの使い方	法テラス埼玉法律事務所 常勤弁護士	馬場 真由子
14:25	14:35	子どもを守るプロジェクト	NHKさいたま放送局	永野 麻衣
14:35	14:45	不登校の子どもたちが安心して学び育つことができる街づくり	FUTURE DESIGN(多様な学びプロジェクト)	萩原 裕子
14:45	14:55	こどもの心のケアハウス嵐山学園について～被虐待体験を克服するために～	こどもの心のケアハウス嵐山学園	早川 洋
14:55	15:05	埼玉県における児童虐待の現状	埼玉県福祉部こども安全課	金子 美樹子
15:05	15:10	休憩		
15:10		質疑応答		
	15:45	聴講者の団体紹介		
15:45	15:55	登壇者から1言ずつ		川越雅弘
15:55	16:00	まとめ		川越雅弘



一般社団法人コンパスナビ (埼玉県全域)

支援の対象

- ☐ 子ども ☒ 青年 ☐ 障がい児・障がい者 ☐ 妊婦 ☐ 親
☐ その他()

活動理念・目指していること

社会的養護（児童養護施設等）から巣立った若者たちを孤立させない！
行政や様々な支援団体の連携で彼らを支える社会をつくりたい。

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☒ 生活支援(衣・食・住) ☐ 学習支援 ☒ 就労支援 ☐ 医療支援 ☒ 居場所支援
☐ その他()

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

2014年、社会的養護出身者への運転免許取得助成から事業が始まりました。2018年度から埼玉県より社会的養護出身者のアフターケア事業を受託し、就労支援、住居支援、生活支援、また施設等入所中の子どもたちの自立支援のための各種セミナーを行っています。社会福祉主事、保育士、教員資格を有する5名が支援員として、また2名が事務局職員として実務にあたっています。

★埼玉県「居場所事業」「クローバーハウス」

浦和駅より徒歩5分の住宅を借り、児童養護施設等を出た若者が仲間と集い、また支援員に困り事を相談できる居場所を運営しています。月に数回、料理・手芸教室、Zoomでのミーティングも実施。また、協力企業や支援者から届く衣料品や食品の配布も行っています。同じ境遇の仲間たちと気兼ねなく集まれる、話せる、遊べる居場所となっています。



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

現在では、児童養護施設に入所する児童の約7割が親などからの虐待経験があり、また約4割に知的障害をはじめとする障害があり、これはどちらも年々増加しています。精神的な問題から就労すること自体が困難で、就職してもすぐに離職し生活困窮に陥るケースが非常に多い。しかも障害者手帳を所持していない“グレーゾーン”では障害者サービスを受けることもできない。結果、10代20代で生活保護受給者となり、そこから就労させ自立させることの困難さを痛感しています。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

★「ホームレス支援」「シェアハウス」「障害者就労訓練」「高卒認定をとるための学習支援」「女性の風俗・性関係のトラブル」「借金問題」…これらの支援を専門的に行っている団体の皆様に連携をお願いしており、既に成功事例も出てきております。今後も様々な団体様のお力添えをお願いしたく、よろしくお願い致します。

★普通に働くことが難しい若者に対し、職業体験、手厚い教育(生活面でも)、まずはアルバイトから……等々を受け入れてくださる協力企業様が必要です。現在40社ほどになりますが、職種に偏りがあり、さらに多業種の企業様の協力が必要です。

連絡先

〒330-0063

住所：埼玉県さいたま市浦和区高砂2-5-1 KOMON7F

支援担当：瀬藤、ブローハン、渋谷、河本、星野 事務局：蟻田、高橋

TEL: 048-815-4111 E-mail: contact@compassnavi.or.jp

HP: <https://compass-navi.or.jp/>

FB: <https://www.facebook.com/COMPASSnavi/>



児童家庭支援センター ・ 愛泉こども家庭センター

支援の対象

- 子ども ■青年 ■障がい児・障がい者 ■妊婦 ■親
■その他(地域関係機関)

活動理念・目指していること

当事者にとっての最善の利益を考え、一貫性のある継続支援を行いたい。

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☐生活支援(衣・食・住) ☐学習支援 ☐就労支援 ☐医療支援 ☐居場所支援
■その他(相談支援)

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

*活動の写真等あれば貼付ください

愛泉こども家庭センター(児童家庭支援センター)とは…

子どもと子どもの家庭に関する問題について、相談支援を行う機関です。児童福祉法第44条第2項の児童家庭支援センターであり、社会福祉事業法第2条3項2の第2種社会福祉事業として国と埼玉県の認可を受けて行っています。

児童相談所・市町村等と連携しながら、地域に密着した相談・支援活動を行っています。
埼玉県には児童家庭支援センターが3か所あります。愛泉こども家庭センターでは、個別の相談の他に、「発達が気になるお子さんと親の親子遊びの会」の開催、市町村の乳幼児健診等への職員派遣、市町村の要保護児童対策地域協議会への参加やカンファレンスの参加などを行っています。

当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

ひとり親家庭・ステップファミリー・里親・社会的養護を利用後、自分の家庭を作った人たち…、どのような形であれ「家庭」であり、その「家庭」にかかわる人を当事者として相談を受けています。相談機関に過ぎないため、生活支援や学習支援などは行えませんが、そのような支援が必要な方には、市町村の窓口をご紹介します。その際、当事者が自分に必要な支援者に自分の言葉で伝えられるような支援は心がけています。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

- ・「児童家庭支援センター」は児童福祉法に定められた機関であり、全国に154カ所、存在しています。「児童家庭支援センター」について、ご理解いただくと心強いです。
- ・相談延べ件数に応じて運営事業費の追加分があることになっているはずなので、規則通りに近い予算を、子ども安全課にはお願いしたいです。

連絡先

〒347-8510

住所：加須市土手2-15-57

TEL/E-mail: 0480-62-2433 / katei@ainoizumi.com

HP: <http://ainoizumi.or.jp/>



公益社団法人

埼玉県社会福祉士会

(埼玉県全域)

支援の対象

☒ 子ども
☐ その他()

☐ 青年

☐ 障がい児・障がい者

☐ 妊婦

☐ 親

活動理念・目指していること

「いつでも、なんでも相談」「護る・繋げる・支える・創る・変える」

現在の活動内容・提供可能な内容

☒ 生活支援(衣・食・住) ☐ 学習支援 ☐ 就労支援 ☐ 医療支援 ☐ 居場所支援
☐ その他()

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

*活動の写真等あれば貼付ください

社会福祉士会会員(社会福祉士)が支援員として配置されている。利用者には個々に担当の支援員がつき、個別面接(月1回以上)のほか、随時相談ができる。各希望の家ごとにチーム体制を取り、週に1回以上事務所に詰め、「いつでも、なんでも相談」のもと、見守り・支援にあたっている。

当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

学校を中退等をした場合退所となり、早急に転居先を探さなければならない。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

アルバイトや奨学金の収入で生活を送っている為、食料や生活用品。。
また、転居する際にご理解やご協力して頂ける不動産会社の情報

連絡先

担当： 小谷野
TEL／ 048-711-4988

みな風こども食堂（さいたま市）

支援の対象

- ☒ 子ども ☐ 青年 ☐ 障がい児・障がい者 ☐ 妊婦 ☒ 親
☐ その他()

活動理念・目指していること

誰でも来られる形で困窮家庭を支援する

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☒ 生活支援(衣・食・住) ☐ 学習支援 ☐ 就労支援 ☐ 医療支援 ☒ 居場所支援
☒ その他(子どもの貧困等テーマを設け地域の方と学習会を実施)

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

○みな風こども食堂は、毎月第1・第3土曜日開催(現在は弁当配布)



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

支援が届きにくい家庭に対する支援をいかにするか(アウトリーチ等)
貧困だけでなく、不登校、いじめ、勉強の遅れなど複合的な課題を抱える家庭を地域でどのように支えるか

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

継続的な運営ができるよう、寄付、食材等提供、ボランティア等の人的支援

連絡先

〒338-0004

住所：さいたま市中央区本町西2-2-24

担当：みな風こども食堂 代表 山田 ちづ子

TEL:090-4600-1027

E-mail:chizuko.minakaze.0913@gmail.com

支援の対象

- ☐子ども ☐青年 ☐障がい児・障がい者 ☐妊婦 ☐親
☒その他(15歳から49歳までの無業の方)

活動理念・目指していること

無業状態にある若者の職業的自立に向けて地域のネットワークを活用しながら
就労に向けてのサポートを行っています！

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☐生活支援(衣・食・住) ☐学習支援 ☒就労支援 ☐医療支援 ☐居場所支援
☐その他()

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

担当スタッフによる個別の面談、就活やコミュニケーション等のセミナー、実際に企業に出向いての職場体験等のプログラムを通して『就労』するまでから『職場定着』するまでをサポートする厚生労働省の委託事業です。

・コミュニケーションが苦手な就活が上手くいかない若者や転職を繰り返す若者、背景にはいじめや引きこもりを経験しメンタルの不調を抱えながらようやく社会とつながろうとしている若者、シングルマザー、定時制高校生、児童養護施設の退所者など多様な若者を受けいれています。

・所属団体であるNPO法人ワークスコープは、働く人たちが共同で出資し、主体的に経営を担い地域社会に貢献する事業を行う協同組合です。子ども、若者、高齢者、障がい者、困窮者等幅広い支援事業及び地域の仕事おこしを全国で展開している組織です。法人の資源を活用し連携しながらサポステ活動を進めています。



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

15歳から49歳と年齢層が幅広く、多様な課題を抱えている方々のニーズに合わせた支援が年々難しくなっています。また、長期化している利用者の課題としては、一般就労が厳しい現実にあるが本人も親も障がいを受け入れられないといったグレーゾーンの方々の対応です。近隣の就労移行支援事業所等との連携により障がい者就労の理解を促すことや、他の社会資源の発掘により多様なニーズに対応できる支援体制の強化を常に模索しています。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

“深サポボランティア隊”として図書館の書架整理や駅前の花壇整備、和菓子屋さんのラベル貼り手伝いなどのボランティア活動を行っています。さらに幅広く地域の活動先を増やしたいと思っています。

働くイメージ作りの場として、また就労先として“職場体験”(1週間程度の実際の現場での作業体験)を受け入れて下さる企業・法人との出会いを求めています。

連絡先

〒366-0824
 住所：埼玉県深谷市西島4-2-61 ウエストビル2F
 担当：清水陽子
 TEL：048-577-4727 (9:00~17:00 土日祝日除く)
 E-mail : fukaya-saposute@roukyou.gr.jp
 HP: https://fky-saposute.roukyou.gr.jp/





NPO法人たねの会

支援の対象

(さいたま市子ども家庭総合センター内「冒険はらっぱプレイパーク」)

- ☒ 子ども ☒ 青年 ☒ 障がい児・障がい者 ☒ 妊婦 ☒ 親
☒ その他(祖父母・地域の方ならどなたでも)

活動理念・目指していること

子どもたちがのびのびと遊び育つことのできる豊かなまちづくりの実現

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☐ 生活支援(衣・食・住) ☐ 学習支援 ☐ 就労支援 ☐ 医療支援 ☒ 居場所支援
☒ その他(子ども支援・子育て支援・まちづくり)

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

*活動の写真等あれば貼付ください

【主な活動内容】冒険遊び場(プレイパーク)開催、遊び場づくり支援
子どもに関わる大人・親向けの研修や学習会(プレイワーカー育成)

【PRポイント】2018年よりさいたま市子ども家庭総合センター「あいぱれっと」内
「冒険はらっぱプレイパーク」を運営。乳幼児～小中高生、親、地域の方まで誰
でも遊びに来られる常設型のプレイパークをさいたま市からの業務委託により
運営。施設内の相談機関との連携もはかっている。1日平均100名ほどの方が
遊びにきており、多世代それぞれの居場所・交流の場となっている。

【運営体制】 理事7名(事務局3名)、会員(正会員・賛助会員)23名
常勤プレイワーカー2名・臨時プレイワーカー7名



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- ・話を聴いてほしい、一緒に遊んでほしい、というたくさんのニーズに応えきれていない。
- ・学校に行っていない子どもたちが来て過ごす場所としての連携・支援。
- ・相談機関に行っても解決に向かえないケースの支援。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

- ・子どもたちや親と交流し、肯定的なまなざしで話を聴いてほしい。
- ・それぞれの団体がつながり、困っている子どもたちや親を守るセーフティネットのような関係を築きたい。
- ・我々が困った時に相談にいけるつながり、子どもや親が困った時に行ける場所の情報がほしい。

連絡先

〒330-0071

住所：さいたま市浦和区上木崎4-4-10 (さいたま市子ども家庭総合センター)

担当：NPO法人たねの会 代表理事 佐藤美和

TEL/E-mail: 090-7179-5436 / info@tanenokai.org

HP: <https://www.tanenokai.org/>

その他SNS: FB / Instagram





法テラス埼玉 (埼玉県全域)

支援の対象

- 子ども ■青年 ■障がい児・障がい者 ■妊婦 ■親
□その他()

活動理念・目指していること

刑事・民事を問わず、国民みんながどこでも法的なトラブルの解決に必要な情報やサービスの提供を受けられるようにしよう

現在の活動内容・提供可能な内容

- 生活支援(衣・食・住) □学習支援 □就労支援 □医療支援 □居場所支援
■その他(債務整理、離婚等、法律問題の支援)

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

無料法律相談のご案内

法テラス埼玉では弁護士・司法書士による法律相談が必要な方が、経済的に困りの場合には法テラスの民事法律扶助による無料法律相談をご案内します。相談は予約制で、同一案件であれば3回まで無料で相談できます。ご利用には収入等の条件があります。



(1) 法テラス事務所相談 (受付時間 平日9時～17時(年末年始を除く))の方

⇒ **法テラス埼玉** にお電話ください(電話:0570-078312) 住所:さいたま市浦和区高砂3-17-15さいたま商工会議所会館6F
・法テラス川越の対象地域以外の市町村にお住まいの方

⇒ **法テラス川越** へお電話ください(電話:0570-078313) 住所:川越市脇田本町10-10KJビル3F
・川越市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、ふじみ野市、三芳町、川島町、所沢市、狭山市、入間市、飯能市、日高市、越生町、毛呂山町、鳩山町にお住まいの方

(2) 直接予約制事務所相談 ⇒ 法テラスと契約した弁護士・司法書士事務所に直接お電話いただき、ご予約ください。

<https://www.houterasu.or.jp/chihoujimusho/saitama/bengoshishihoushoshi/bengoshi.html>

当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

市民の皆さんが困りごとに遭遇して法律や法律の専門家の援助を受けようとするとき、まだまだ多くの壁が存在します。みなさまには法テラスで法的相談を気軽に相談できるということを知っていただき、もっと利用していただきたいと思っています。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

法律の問題かもしれない、と思っても、「弁護士に相談すべき事案かわからないな」と相談をためらう方がほとんどです。法律問題が迷っているときでも、お気軽に最寄りの法テラスを利用していただきたいと思います。法テラスをご存じない方にはご周知いただくと幸いです。

連絡先

法テラス埼玉 (TEL:0570-078312) 住所:さいたま市浦和区高砂3-17-15さいたま商工会議所会館6F

・法テラス川越の対象地域以外にお住まいの方

法テラス川越(TEL:0570-078313) 住所:川越市脇田本町10-10KJビル3F

・川越市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、ふじみ野市、三芳町、川島町、所沢市、狭山市、入間市、飯能市、日高市、越生町、毛呂山町、鳩山町にお住まいの方

HP:<https://www.houterasu.or.jp/chihoujimusho/saitama/index.html>

メール:<https://www.houterasu.or.jp/cgi-bin/formmail/formmail.cgi?d=toiawase> *Webサイト上のフォームで情報提供します

その他SNS:ツイッター https://twitter.com/houterasu_4_10



NHKさいたま放送局（さいたま市浦和区）



支援の対象

- ☐子ども ☐青年 ☐障がい児・障がい者 ☐妊婦 ☐親
☒その他（報道機関）

活動理念・目指していること

地域に頼られる放送局に

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☐生活支援（衣・食・住） ☐学習支援 ☐就労支援 ☐医療支援 ☐居場所支援
☒その他（テレビやラジオの放送・イベント展開・WEB記事掲載）

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

子どもを守るプロジェクト

虐待やいじめ、貧困、子育て、福祉など地域の諸課題から今の社会を考え、放送やイベントなどを通じて地域のハブとなり課題解決に向けて取り組む、さいたま局のプロジェクト

ラジオのサードプレイス化

ラジオ番組「ひるどき！さいたま〜ず」で、子どもたちの生の声に埼玉ゆかりのゲストや専門家が答え一緒に解決策を探る取り組み

ヤングケアラーのイベント展開

テレビの放送と連動してヤングケアラーをどう支援していくかを考える埼玉県と共催のフォーラム（2021年11月26日開催）



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- ・より多くの県内の子どもたちの声を伝える
- ・子どもたちに直接、支援が届くような情報を伝える

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

- ・大学・民間団体・企業などとの連携強化

連絡先

〒330-9310

住所：埼玉県さいたま市浦和区常盤6-1-21 NHKさいたま放送局

担当：記者 永野麻衣

TEL：048-833-2041

E-mail: nagano.m-iw@nhk.or.jp

HP: <https://www.nhk.or.jp/saitama/>



多様な学びプロジェクト（さいたま市）

支援の対象

☒ 子ども
☐ その他()

☐ 青年

☐ 障がい児・障がい者

☐ 妊婦

☒ 親

活動理念・目指していること

学校に行っている子も行っていない子もすべての子どもが安心して
学び育つことができる街づくり

現在の活動内容・提供可能な内容

☐ 生活支援（衣・食・住） ☐ 学習支援 ☐ 就労支援 ☐ 医療支援 ☒ 居場所支援
☐ その他（相談）

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

子どもと子どもを取り巻く大人向けの居場所&学び場づくりをしています。

- ・ 街のとまり木活動（平日昼間に子どもが安心して立ち寄れる場所をwebサイトで紹介しています。）
- ・ 大人向けオンラインサロン（保護者向け、支援者向けの講座や勉強会、交流会をしています。）
- ・ 子ども向けオンラインサロン（子ども同士の交流をしています。）
- ・ 子どもの居場所（コドモ農業大学、コドモギルドなど）

当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- ・ もっと活動日を増やしてほしいという子どもたちからのリクエストに応えたいが、スタッフが他に仕事を
持っているため活動時間に限界がある。
- ・ 参加費を無料にして、家庭の経済状況に関わらず誰でも気軽に参加できるようにしたいが、現時点では
実現できていない。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

- ・ 子どもが安心して立ち寄れる場所（とまり木）に登録してほしい。
- ・ 学校に行っていない子を暖かい眼差しで見守ってほしい。
- ・ 専門分野の知識や体験を子どもたちに提供してほしい。

連絡先

副代表 萩原裕子

e-mail: futuredesign15@gmail.com

HP: <https://www.tayounamanabi.com/>

FB: <https://www.facebook.com/tayounamanabiproject/>

こどもの心のケアハウス嵐山学園(児童心理治療施設)(嵐山町)

支援の対象

- ☒ 子ども ☐ 青年 ☐ 障がい児・障がい者 ☐ 妊婦 ☐ 親
☐ その他()

活動理念・目指していること

嵐山学園の基本理念「共育(大人も共に育つ)、徳育(かわいがられる人間に育つ)、自立(社会の中で自立する)」の社会の中での実践

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☐ 生活支援(衣・食・住) ☐ 学習支援 ☐ 就労支援 ☐ 医療支援 ☐ 居場所支援
☒ その他(入所での)

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

*活動の写真等あれば貼付ください

- 埼玉県で唯一の小中学生を対象とする児童心理治療施設です。
- 様々な困難さを抱えた子どもたちが、児童相談所の措置により全県から入所してきて、平均2.2年共同生活をしています。
- 施設全体が治療の場であり、施設内で行っている全ての活動が治療であるという「総合環境療法」の考え方を実践しております。

※嵐山学園への入所は、全て児童相談所からの措置になります。嵐山学園への直接の依頼では入所はできません。



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- 嵐山学園でかなり回復した子たちが、退所後に孤立して崩れることが多いため、近年は退所生支援を積極的に行っています。支援には確実に効果があるので、今後とも継続していきたいです。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

- 嵐山学園の取り組みを、温かく見守っていただければ幸いです。
- 嵐山学園への寄付は、下記からお願いいたします。

http://ranzangakuen.org/about_donation.html

連絡先

〒355-0221

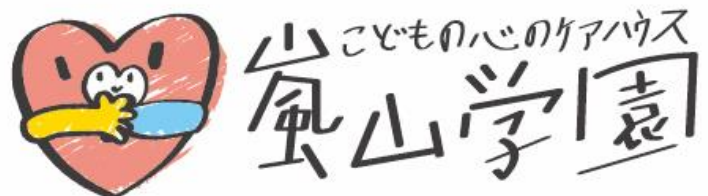
住所：埼玉県比企郡嵐山町菅谷東原264-1

担当：嵐山学園 連携支援部

TEL：0493-53-6600(代表)

E-mail: daihyou@ranzangakuen.org

HP: <http://ranzangakuen.org>





支援の対象

- ☒ 子ども ☐ 青年 ☒ 障がい児・障がい者 ☒ 妊婦 ☒ 親
☐ その他()

活動理念・目指していること

障がいがあるなしに関わらず みんなちがってみんないい 包含社会を創りたい

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☐ 生活支援(衣・食・住) ☐ 学習支援 ☐ 就労支援 ☒ 医療支援 ☒ 居場所支援
☒ その他(相談) **親だけでなく社会で子どもを育てたい!**

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

リハビリテーション精神を大切に医療と地域を繋ぐ活動をしています
気軽に心身の相談が医療職にきける場をリアル・オンラインで実施

- まちの保健室(産後ママ・育児相談・高齢者の居場所)
出張「まちの保健室」も行っているの、お気軽にお声かけください
- オンライン健康居酒屋(毎月第3土曜日21時～オンライン開催)
- Youtubeチャンネルで発信(バリアフリー社会推進)
<https://www.youtube.com/channel/UC8k-lyGWKrQ1bTJ3f64dHJQ>

子ども・支援者、障害者、高齢者、働く人を対象に、理学療法士・医師
作業療法士・言語聴覚士・看護師・介護福祉士ほか様々な専門職や一般職
の方がメンバーとなりチームで社会課題解決に向けて活動しています。
一緒に活動してくれる正会員・応援団になってくれる賛助会員、募集中!



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- ・産後うつをはじめ子どもの発達障害、医療的ケア児も含め孤独に育児をしている方が増えており問い合わせが多い。
共感してもらいながら 育児相談できる場を常設したいが対応できていない。
- ・産後ママの身体のケアが不足しており、体力低下、腰痛、尿失禁などの症状がみられる方が少なくない。育児中で自分のことが後回しになってしまっているの、子連れで心身のケア出来る場を作っていきたい。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

- ・病院にかかる前に気軽に心身の相談が出来る「まちの保健室」活用促進していきたい。ReMind会員には様々な医療福祉専門職がいるので、様々なテーマでコラボ開催などが出来たら嬉しいです。(テーマ:産後ケア・愛着形成・更年期・腰痛など)
- ・さいたま市で子どもと一緒に体に良いものを食べながら育児相談できる場所を作りたいと思っています。場所の提供、シェア空き家、空きスペースなどがありましたら、ぜひご連絡お願いいたします。

連絡先

〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2
新都心ビジネスプラザ COCOオフィス内
(担当) 代表理事 河合麻美
TEL/E-mail: remind.pos@gmail.com
HP: <https://nporemind.org/>
FB: <https://www.facebook.com/nporemind>





ハピママメーカープロジェクト (埼玉県川口市西川口)

支援の対象

- 子ども ■青年 ■障がい児・障がい者 ■妊婦 ■親
■その他(※主対象は夜業界:キャバクラ、風俗等で働くシングルマザー)

活動理念・目指していること

夜業界で働く女性達が自信と誇りをもって安心して働ける社会創り(横の繋がり作り、早期の相談受付、行政や昼業界との関係構築作り)

現在の活動内容・提供可能な内容

- 生活支援(衣・食・住) ■学習支援 □就労支援 □医療支援 ■居場所支援
□その他()

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

～食料支援(フードパントリー)や確定申告勉強会、行政支援相談等～
現役シングルマザーのキャストやボーイ(スタッフ)等といった当事者、社会福祉士や弁護士等の専門家、民生児童委員、町内会長といった地域の方を運営メンバーとし、多角的な視点からの支援を心がけています

コロナ禍による緊急事態を受け食料支援やSNS等を使った支援相談を実施。

また、確定申告勉強会、風揚げイベントなどの交流活動を実施しました。主な活動拠点は埼玉県川口市西川口エリアですが、お困りな方には緊急支援(他団体に繋がるまでの間の一時支援)として県外の方にも食材を郵送対応しています



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

感染拡大に伴い、夜のお店の休業・閉店により働き口をなくした方やそれまでのコミュニティとしての居場所が無くなってしまった方々が多くいます。大阪や兵庫といった遠方からの問い合わせもありました。他県含めてより多くの現地の支援団体と繋がり、“一人も取り残さない”支援のための関係構築が課題です

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

相談を受ける中で他の団体様を紹介した際に「自分達でも対象なんですか？」という声がありました。職業を言ったら否定されるのではないかなどといった不安を抱えている方がいます。コロナ禍で社会全体が不安や不満が募り、批判の対象とされやすい業界ですが、様々な理由を抱えてそこで働く人たち、その子どもたちがいます。団体として、積極的に他団体様とコラボさせていただき、包括的な支援体制をアピールしていきたいです。

連絡先

〒332-0021

住所:埼玉県川口市西川口2-10-8サイレンス扶桑303

担当: 石川菜摘

TEL/E-mail: support@expressyourself.jp

HP: <https://expressyourself.jp/nightwork/>

その他SNS: https://twitter.com/happy_mama_nats





一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク(埼玉県)

支援の対象

- 子ども ■青年 □障がい児・障がい者 □妊婦 ■親
□その他()

活動理念・目指していること

学習支援を通じて次の社会を担う子どもたちを支え、「貧困の連鎖」を断つ

現在の活動内容・提供可能な内容

- 生活支援(衣・食・住) ■学習支援 ■就労支援 □医療支援 ■居場所支援
□その他()

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

埼玉県内の生活困窮世帯(生活保護世帯等)の小学生・中学生・高校生に対する学習支援を行い、子どもたちの進学や就職等の進路実現をサポートします。それにより生活保護世帯の中学生のうち4人に1人が大人になってから再び保護を受けるという「貧困の連鎖」を断ち切り、子どもの未来の可能性を広げる活動をしています。

具体的な活動内容としては、生活困窮世帯のさまざまな課題や困難をかかえる子ども・若者を対象にソーシャルワークの手法で家庭訪問、居場所づくり等を行い、彼らの可能性や潜在能力を引き出し、社会参加及び自立のための支援を進めています。また、地域に学習教室を開催し、学生・社会人・シニア等のボランティアの協力により個別指導を行うことで基礎学力を身につけさせ、進学のための学習支援を行います。

令和3年度は生活困窮者自立支援法に基づく学習支援事業を埼玉県内25市及び23町村より受託しています。



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- ・支援対象世帯には行政を通じて家庭訪問等のアプローチを行っていますが、継続的な支援に結び付く世帯は対象の25%程度に留まり、十分な支援が行き届いているとは言い難い状況です。
- ・不登校、引きこもり、発達障害、保護者の精神疾患等、著しく厳しい環境で生活している子どもたちは、もっと大人に話を聞いてほしい・分かってほしいと思っています。私たちの行う支援のみならずより多くの支援が必要だと感じます。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

埼玉県内に約60か所開いている学習教室で、子どもに勉強を教えたり話し相手になったりしてくださるボランティアを募集しています。教室は平日の夕方や土曜日の午後に週1回～3回程度の頻度で開催していますが、不定期のご参加でも問題ありません。活動自体は無償ですが、教室までの交通費は実費にて支給いたします。学習教室では勉強のみならず食事の提供や様々な体験活動を実施することもあり、多様なスキルを有した大人の方が一人でも多く活動に関わってくださることは子どもの可能性を広げ、将来への希望を見出すことにもつながります。ぜひ地域の皆様からの温かいご支援をお願いいたします。

連絡先

〒330-0063

住所：埼玉県さいたま市浦和区高砂3-7-2 タニグチビル2F

担当：代表理事 土屋匠宇三

TEL/E-mail: 048-831-2688/kodomoshiennet@movie.ocn.ne.jp

HP: <https://kodomoshiennet-asuport.net/>

その他SNS: <https://www.facebook.com/彩の国子ども・若者支援ネットワーク-423545434712567/>



支援の対象

- ☐子ども ☐青年 ☐障がい児・障がい者 ☒妊婦 ☒I親
☒その他(産まれてきた児童)

活動理念・目指していること

虐待防止の視点から、全国の約20の産婦人科医療機関が行政等と連携し、予期せぬ妊娠をされた女性を妊娠期から継続的に支援し、必要に応じて児童の特別養子縁組までの支援を行っています。

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☒生活支援(衣・食・住) ☐学習支援 ☐就労支援 ☒医療支援 ☒居場所支援
☐その他()

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

- ★「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について」より、0歳0日の虐待死がもっとも多く、その背景には予期せぬ妊娠があり、母子手帳の未発行、妊婦健診未受診などがリスクとして報告されています。出産後の子どもの養育について妊娠期から支援を行うことが特に必要な妊婦を「特定妊婦」といいます。支援が必要な場合行政や児童相談所などと連携し、長期での居場所支援、生活支援を提供しながら安全な出産まで支援します。
- ★専門職(医師・助産師・看護師・社会福祉士・心理師)のチームで対応します。
- ★相談者がさまざまな選択肢の中から納得された決心を応援します。
- ★産まれてきた児童の幸せのために必要に応じて特別養子縁組までのあっせん事業を行います。
- ★相談者の継続的な精神面のケアを行います。
- ★特別養子縁組による児童や養親家族の継続的な支援を行います。
- ★中高生妊娠初回無料相談を行っています(18歳まで)

当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- ★予期せぬ妊娠に悩まれている方へもっと支援が届いていないと感じています。
- ★特に若年層(中高生)無料妊娠相談が彼女たちのツールに合っていないと思っています。
- ★家庭養育を選択し、育児をされている方(特に若年層)への支援先が拡がりません。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

- ★「予期せぬ妊娠」に医療機関が関わることで、継続して支援が行えることを知って欲しいです。
- ★妊娠相談の背景には性暴力被害やDV、SNS被害など人権などの社会問題が背景にあります。
- ★皆さんとつながり、相談者が地域に帰って行った時のさまざまなアウトリーチ先を知りたいです。

連絡先

〒360-0025 埼玉県熊谷市太井1681
医療法人きずな会 さめじまボンディングクリニック内
一般社団法人 あんしん母と子の産婦人科連絡協議会
担当者・吉田
TEL 048-522-5571 / メール info@anshin-hahatoko.jp
HP <https://anshin-hahatoko.jp/> あんさん協→検索



NPO法人さいママ(さいたま市)

支援の対象

- ☐子ども ☐青年 ☐障がい児・障がい者 ☒妊婦 ☒親
☐その他()

活動理念・目指していること

産前から育児期間のママや育児世帯を途切れることなくケア・フォローできる団体を目指しています。

現在の活動内容・提供可能な内容

- 生活支援(衣・食・住) ☐学習支援 ☐就労支援 ■医療支援 ■居場所支援
■その他(講座、相談)

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

*活動の写真等あれば貼付ください

- さいママオンライン外来(母親学級、育児サロン、講座、産前産後ケア)
- さいママ繋がり安心ライン
- 助産師訪問・オンライン相談
- 訪問家事支援
- 手作りお弁当のお届け

資格を持っている方もそうでない方も、さいママと一緒にママをサポートしたいという人を募集しています。こんなご時世だからこそ、あなたの力が必要です。

当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- ・妊娠中の心配事や授乳トラブル、子どもの体調の変化など、病院へ行くほどでもないこと、あるいはこのご時世で外出もままならない状況で、今日、明日など早く相談したいというママのご希望になかなか合わせられず、すぐに対応できない場合がある。
困った時にいつでも相談ができ、すぐに回答できる体制を整えたい。
- ・自治体などの母親学級(両親学級)や育児サロンが開催できない(又は開催されても短縮など制限がある)状況下で、知識を得られないまま育児をするという不安をオンライン等によって解消したい。また、ママ同士で悩みを相談し合える環境も作りたい。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

産前産後のママの心と体はホルモンなどの影響もあり、急激に変化します。産前では、つわりや切迫早産等で絶対安静になり何もできないことに苛立ち、産後は新しい赤ちゃんのいる生活リズムが確立出来る迄、慣れない育児に戸惑い、焦り、うまくできない自分を責め、慢性的に寝不足になるという負のループになりやすく、産後うつと隣合わせです。それでも毎日不安と戦いながら頑張っているママに、少しでも笑顔で赤ちゃんや家族、そして自分にも笑顔で楽しく向き合えるよう、辛い時、疲れちゃった時、またはそうなる前に、さいママという相談できる先があることをみなさんに知ってほしいです。

連絡先

〒338-0001

住所：埼玉県さいたま市大宮区上落合5-14-15

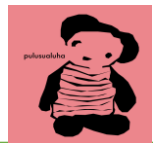
担当：桑名 明子

TEL／E-mail: 048-689-3578／info@saimama-npo.org

HP: <https://www.saimama-npo.org/>

公式LINE: <http://nav.cx/6NJA0ud> Instagram: <http://nav.cx/6NJA0ud>

NPO法人ぷるすあるは(さいたま市)



支援の対象

- 子ども
- 青年
- 障がい児・障がい者
- 妊婦
- 親
- その他(支援者)

活動理念・目指していること

情報コンテンツの力で、精神障がいを抱えた親と家族、その「子ども」へ安心と希望を届けること。

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☐生活支援(衣・食・住)
- ☐学習支援
- ☐就労支援
- ☐医療支援
- ☐居場所支援
- その他(情報発信)

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

・情報サイト「子ども情報ステーション <https://kidsinfost.net>」を運営しています。子ども向けページ、イラストで学ぶ病気や障がい、無料ダウンロードできるセルフケア・コミュニケーションアイテムのコーナーなどがあります。SNSでも情報発信しています。

・心理教育絵本、ツールの制作普及を行っています。

絵本には、家族のこころの病気を子どもに伝える絵本シリーズ(ゆまに書房)、『生きる冒険地図』(学苑社)、『ゆるっとこそだて応援ブック』(ぷるすあるは)などがあります。



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- ・認知度が低く、絵本や活動が届いていないこと。
- ・取り組めるテーマに限りがあること。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

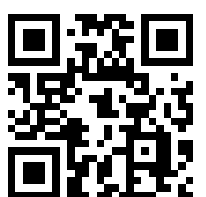
- ・子どもに絵本や情報が届くよう、絵本やチラシを置いていただいたり、情報を広げていただけるとありがたいです。
- ・団体の活動基盤が弱いので、寄付で支えていただけるとありがたいです。
- ・若い年代の人たちが、活動に関心をもって加わり、広報に協力いただけるとありがたいです。

連絡先

- ・住所 : 〒338-0012 さいたま市中央区大戸1-14-10-105
- ・担当 : ぷるすあるは事務局
- ・E-mail : office@pulusualuha.or.jp
- ・HP : <https://pulusualuha.or.jp/>
- ・Twitter : @pulusualuha
- (Facebook、Instagram、Youtube、TikTokもやっています)



情報サイト



ストア

ヘルシーカフェのら (埼玉県さいたま市)

支援の対象

- 子ども ■青年 ■障がい児・障がい者 ■妊婦 ■親
■その他(まちづくり・社会教育など)

活動理念・目指していること

誰もが自分の持つ力を地域というテーブルで発揮し、住んでうれしい街を作る。

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☐生活支援(衣・食・住) ☐学習支援 ☐就労支援 ☐医療支援 ■居場所支援
■その他(学びの場の提供・飲食提供・ネットワーク紹介)

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

*活動の写真等あれば貼付ください

- 地産地消の食材を使った料理の提供(火曜日～土曜日)
- 地域課題、社会課題などの課題解決のためのワークショップ開催
- コミュニティカフェ開設などの相談、ネットワークなどのつなぎ役など



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

・たくさんのネットワークはあると思うが、のらは有料施設なので利用料が派生する。あるいは、利用したい人が遠い場所であっては利用しづらい。そのあたりの運営の工夫やアイデアが欲しい。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

のらは16畳の部屋があるので、その部屋を大いに活用してもらいたい。しかしながら、その部屋は有料なので、有料で利用できるような仕組みを考えてもらいたいし、考えたい。

連絡先

〒336-0031

住所：さいたま市南区鹿手袋7-3-2

担当：代表社員 新井純子

TEL/E-mail: arai_nora@jcom.home.ne.jp

HP: <http://healthy-cafe-nora.jimdo.com>





マスタートピース

一般社団法人 Masterpiece (首都圏)

支援の対象

- ☐ 子ども
 ☒ 青年
 ☐ 障がい児・障がい者
 ☐ 妊婦
 ☐ 親
 ☐ その他()

活動理念・目指していること

生い立ちによらず、若者たちが平等に挑戦できる社会の実現を！

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☒ 生活支援(衣・食・住)
 ☐ 学習支援
 ☐ 就労支援
 ☐ 医療支援
 ☒ 居場所支援
 ☐ その他()

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

虐待などの理由により、親と離れて暮らす児童養護施設などを巣立った若者たち(社会的養護を巣立ったおおよそ29歳までの若者)の「住」と「食」、「居場所」のサポートを行っています。

●住居サポート

- ・家賃と生活費を安く抑えられるシェアハウスの提供(現在:千葉・埼玉)
- ・その他住まいに関する相談

●食料サポート

- ・生活が苦しい若者60名ほどに食料配送

●ユースサロン開催

- ・月に1回、ユースサロンを開催
- ・ご飯を食べながら、近況や悩みを共有



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- 新型コロナの影響もあり、相談件数が増えています。現状、Masterpieceは専従スタッフが少ないため、多くの相談に十分に答えられない部分がありもどかしい思いをしています。スタッフやボランティア養成などを行い、たくさんの方にご活躍いただけるよう尽力していきたくと思っています。
- ⇒ 必要なもの : 安定した財源、スタッフ・ボランティア など

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

- 寄付や寄贈 : 寄付やAmazonほしいもののリスト経由での寄贈はとてありがたいです！
- ボランティア参加 : 食料配送、ユースサロンやシェアハウスのお手伝いなどがあります！
- 協力 : こういった資源があります・こういった連携ができますなどのご提案もありがたいです！
- 理解と支え : 社会的養護の若者たちへ出会った時はぜひ地域で温かく支えていただきたいと思います。

連絡先

寄付: ゆうちょ銀行 098 普通 3085977(1) シャ)マスタートピース

住所: 〒272-0013 千葉県市川市高谷1-5-1 Masterpiece201

担当: 菊池 まりか

TEL/E-mail: masterpiecejp2017@gmail.com

HP: https://peraichi.com/landing_pages/view/masterpiecejp2017/

その他SNS: Facebook / Twitter : youare_mp

支援の対象

■子ども
□その他()

■青年

□障がい児・障がい者

■妊婦

■親



NPO法人ピッコラーレ にんしんSOS埼玉(埼玉県全域)



活動理念・目指していること

「にんしん」をきっかけに、誰もが孤立することなく、自由に幸せに生きることができる社会の実現を目指します。

ピッコラーレの現在の活動内容・提供可能な内容

■生活支援(衣・食・住) □学習支援 □就労支援 ■医療支援 ■居場所支援
■その他(相談・同行支援)

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

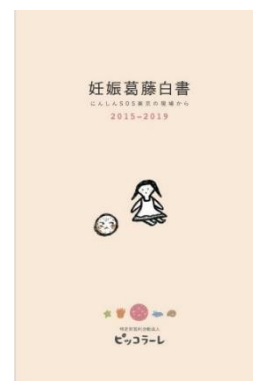
産む産まない、育てる育てないに関わらず、全ての妊娠や妊娠にまつわる悩みに寄り添います

* 妊娠葛藤相談 にんしんSOS埼玉 (他、にんしんSOS東京・にんしんSOSちばを運営)

* 出張保健室 ピコタイム クローバーハウスに訪問

* 居所のない妊婦のための宿泊可能な居場所(東京都豊島区) * 性教育講座

* 妊娠葛藤相談窓口の支援員のスキルアップ研修 * 「妊娠葛藤白書」発行 等



当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

日本は、避妊も出産も中絶も自費であり、特に未成年においては、親を頼ることができない相談者さんからの相談が寄せられます。貧困や暴力、ネグレクトなどから、相談すると、今以上に関係性が悪化することを危惧して、孤立してしまう状況があります。同意書やお金の問題で、受診も中絶も受けられず、臨月になって、お産の兆候が出てきて、やっとつながることができたという人もいます。思いがけない妊娠してしまうのには、ワケがあります。

妊娠して困っているときに、安心して相談のできる社会、そして、経済的に自分ではどうすることもできない場合に、相談することで、費用の助成などが受けられる社会にすることで、一人一人のSRHRが守られる世の中にしていきたいと考えています。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

妊娠は一人ではできません。それでも、一人で悩む女性の存在があります。

もしも、妊娠をして悩んでいる方をキャッチされたときには、「にんしんSOS埼玉」に、ご連絡ください。

クローバーハウスでも、ピッコラーレの出張保健室「ピコタイム」の時間に直接お話をしたり、妊娠検査薬を試したりすることもできます。産む産まないに関わらず、妊娠している女性を大切にできる社会にしていきたいと思っています。

連絡先(事務局)

特定非営利活動法人ピッコラーレ

171-0041 豊島区千川2-6-14 担当:事務局小野

Tel: 050-3134-4479 Email: info@piccolare.org

HP: <https://piccolare.org> Facebook: @piccolare

Twitter: @piccolare / @picohoken ♡ Instagram: picohokenshitsu

にんしんSOS埼玉





公益社団法人やどかしの里 (さいたま市)

支援の対象

- ☐子ども
 ☐青年
 ☒障がい児・障がい者
 ☐妊婦
 ☒親
 ☐その他()

活動理念・目指していること

1人1人が主人公

さいたま市で、埼玉県で、そして全国各地で思いを同じにする人たちと力を合わせ、知恵を出し合い、声を合わせ、障害や病気があっても「生きていてよかった」と実感できる地域づくりを目指しています。

現在の活動内容・提供可能な内容

- ☒生活支援(衣・食・住)
 ☐学習支援
 ☒就労支援
 ☒医療支援
 ☒居場所支援
 ☐その他()

【主な活動内容・PRポイント・団体の運営体制】

やどかしの里は、精神障害のある人たちが、地域の中で生き生きと暮らし、働くことを目的に設立された民間の公益法人(社団法人)です。

1970(昭和45)年に“ごく当たり前の生活を”求めて始まった私たちの活動は、効率だけが優先される社会ではなく、一人一人が尊重され大切にされる社会を、そして、障害のある人も一人の市民として共に生きる街づくりをめざし、活動しています。

現在は見沼区・大宮区・浦和区の3つの区で相談する場(障害者生活支援センター)・住む場(グループホームなど)・働く場(就労継続A型・B型)など、精神障害のある人やそのご家族に必要な活動を、行っています。詳しくはHPへ→ <https://www.yadokarinosato.org/>



2020年より「つなぐ・つくるプロジェクト」を始動

昔から自然と人とが共生してきたこの見沼の地で、地域の居場所づくりに取り組んでいます。自然を守り、食とエネルギーとケア(FEC)が地域で循環する仕組みを、そこに暮らす人たちと手を取り合いながら模索しています。詳しくはHPへ → <https://www.ttproject2020.com/>

当事者のニーズにもっと応えたいこと／応えられなくて困っていること

- ・精神疾患を発症してから、適切な治療や支援につながるまでに時間がかかり、本人やご家族のみで悩み、専門機関を右往左往せざるを得ない方も多いです。発症される年齢層も10代～老年期までと幅広く、年代によっても切れ目のない支える態勢が不十分な状況が地域の課題となっていると思います。
- ・働く場や暮らす場の選択肢が少なく、1人1人の希望や目指す暮らしに応えることができるよう、上記プロジェクトなどを通して地域のつながりや新たな資源開発を多くの人たちと協働して取り組みたいと考えています。

他の活動団体の方や地域住民の方に支援して欲しいこと

- ・多様な活動、背景、立場を超えて孤立している状況に置かれている人がアクセスしやすい環境を地域に整えていけるよう、地域巡回活動も行っています。さまざまな方々とコラボレーションさせて頂ければと思います。

人と人のつながりの架け橋になっているヤギの喜々(きき)と楽々(らら) → ぜひ会いに来てください♪



連絡先

〒337-0043

住所：さいたま市見沼区中川562

担当：法人事務局(永瀬)

TEL/048-686-0494 E-mail: honbu@yadokarinosato.org

HP: <https://www.yadokarinosato.org/>

その他SNS: <https://www.facebook.com/yadokarinosato/>